

日本伝熱学会関西支部 第 25 期 定時総会・特別講演会・第 26 期 第 1 回講演討論会

主催：日本伝熱学会 関西支部

開催報告

開催日時： 平成 31 年 4 月 26 日（金） 13:00~17:00

開催場所： 大阪府立大学 I-site なんば 2F カンファレンスルーム

[13:00 - 13:30]

- 関西支部第 25 期定時総会（参加者数：58 名＋委任状：16 通）
- 特別講演会・第 26 期 第 1 回講演討論会（参加者数：65 名）

特別講演会 [13:40 - 15:40]

1. 「大学の変容」

千田 衛 氏（同志社大学）

現代の大学で進められている数々の改革課題に伴う大学の変容について、改革や教育の成果を見るには時間を要するものであり、成果を急ぐあまり本来の大学の姿からかけ離れてしまわぬよう、それぞれの大学がもつ個性を大切にしながら大学のあるべき姿を求めてもらいたい、とのメッセージが込められたご講演をいただきました。

2. 「沸騰現象のマルチスケール・シミュレーション」

功刀 資彰 氏（京都大学）

沸騰現象およびそのマイクロ、メゾ、マクロの各スケールでの数値シミュレーション手法について解説いただくと共に、開発されたマルチスケール数値シミュレーション手法とそのシミュレーションによる成果をご紹介いただきました。さらに、沸騰現象とそのモデリングにおける今後の研究課題についてお話いただきました。

第 26 期 第 1 回講演討論会 [16:00 - 17:00]

1. 「電気二重層を考慮した気泡離脱における濡れ挙動の数値解析」

網 健行 氏（関西大学）

プール沸騰における気泡離脱過程について解説いただくと共に、気泡の濡れ挙動を電気二重層によるクーロン力を固液界面エネルギーとして考慮したVOF(Volume of Fluid)法によって 2 次元数値解析した結果のご紹介と今後の課題について講演いただきました。

2. 「ごみ焼却炉の燃焼数値解析技術の開発」

中田谷 直広 氏（Hitz 日立造船(株)）

ストーカ式ごみ焼却炉における炉内燃焼過程、ごみ層挙動および詳細化学反応機構を考慮した数値解析技術について紹介いただきました。さらに、実機を模擬した小型ストーカ炉での燃焼試験を行い、開発された数値解析技術の妥当性を検証した結果を解説いただきました。

[18:00 - 20:00]

講演討論会終了後、講演者をお招きし、道頓堀クラフトビア醸造所にて活発な意見交換を行いました。（参加者数 53 名）



集合写真



千田 氏



功刀 氏



網 氏



中田谷 氏